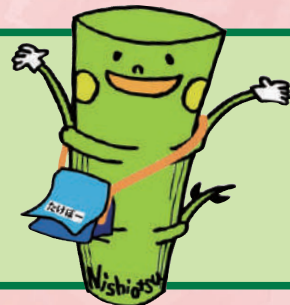


NO.88
令和7年3月

京都府立
西乙訓高等学校

にしおつ 西 N 乙 PTA会報



長岡京市下海印寺西明寺41 TEL.955-2210 <http://www.kyoto-be.ne.jp/nishiotokuni-hs/mt/>



令和六年度PTA活動について

PTA会長 大山 愛加

日頃より西乙訓高校PTA活動にご協力を賜り、誠にありがとうございます。

ご縁でさせていただきました会長の任期もあとわずかとなりました。

本年度も、様々な学校行事に保護者として関わらせて頂き、自分の子供はもちろん、生徒の皆さんの活動の中で、様々な表情を見れた事、大変嬉しく思っています。

そして親としても充実した学校生活を過ごす事が出来ました。一緒に活動してくださった本部メンバー・クラス役員の方々には感謝の気持ちでいっぱいです。

また学校行事に加え、京都府立高等学校PTA連合会の理事にあたったことから、近畿地区京都市大会の役員もさせていただきました。京都府下の高校や他府県の高校のPTAの方々との色々な出会いや交流もあり、より充実したPTA活動となりました。

二〇二五年は巳年。昔から、蛇は脱皮を繰り返すことにより、再生と変化の象徴とされる縁起の良い動物です。二〇二五年は、蛇が古い皮を脱ぎ捨てて成長するように、PTAとしましても、より良い成長と変化が起こればと思っております。

令和七年度も、西乙訓高校のPTA活動に、ご支援、ご協力を賜りますようお願いいたします。



祝 御卒業

校長 三木 孝史

PTA会員のみなさまには、日ごろから本校の教育活動に御理解と御支援を賜り、誠にありがとうございます。

卒業生の保護者等のみなさま、お子様の御卒業おめでとうございます。

卒業生のみなさまは、2022年4月の入学式をはじめ、校外学習等全員マスクでの活動を余儀なくされ、また2年生での研修旅行は前年度に引き続き国内での研修旅行となり新型コロナウイルス感染症の影響を多大に受けた学年でした。

今年度は新型コロナウイルス感染症による影響が減り、学校行事等以前の取組が復活し、最高学年として球技大会、西乙祭を大いに盛り上げてくれました。

PTAのみなさまには今年度も西乙祭において、生徒たちへ飲料水やお菓子の配布をしていたいただき、誠にありがとうございました。9月27日と彼岸を過ぎた日程での西乙祭(体育の部)でしたが、まだまだ暑く、生徒たちはPTAのみなさまからいただいた飲料水にとっても感激をしておりました。

さて、西乙祭の関係で申しますと西乙祭で茶道部の発表がありました。その会場に飾る掛け軸に、校長先生の印象に残る言葉を書に表してくださいと依頼があり、「一華開五葉」と書かせていただきました。

「一華開五葉」とは禅の言葉で「いっかごようをひらく」と読み、一つの花(つぼみ)から五枚の花が咲くという意味を表しています。

一つの花が咲くとそこから花が広がって咲いていくというイメージです。「一つの花」を一人ひとりと考えてもらえればと思います。これから社会に向かって卒業生一人ひとりが世界に羽ばたいていく。本校の教育の特色である国際的視野を持って世界を創造していく。そのようなイメージを持っていたければと思います。春の花が咲き始める今、卒業生のみなさまが、「自分(一華)」から「世界(五葉)」へ広がっていく。そのような思いを込めて、卒業生のみなさまに「一華開五葉」のことを贈ります。

最後に卒業生のみなさまが将来世界のどこかを支えるべく、前途洋々と歩まれること心から期待するとともに、卒業生のみなさまに対して、今日まで心を離すことなく導いてくださった保護者等のみなさまに感謝申し上げます、保護者等のみなさまの今後ますますの御健勝と御多幸をお祈り申し上げます。

これからも本校に変わらぬ御支援を賜りますようお願い申し上げます。



PTA本部

各種PTA関連会合（府指導者研修会、近畿地区連合大会、全国連合大会等）へ出席しました。

制服リユース事業を実施し、沢山の方々にご協力を頂き制服の橋渡しが出来ました。

西乙祭・文化の部（1日目）では飲料と駄菓子配布を、西乙祭・文化の部（2日目）と体育の部では飲料の配布を行いました。

生活安全委員会

1年生のクラス委員さんを中心に、2学期と3学期にそれぞれ通学安全指導を行いました。8月には合わせて自転車安全点検の実施をお手伝いしました。

広報委員会

3年生のクラス委員さんのご協力により、7月に広報誌「西乙」第87号、3月に第88号を発行しました。素敵な写真をたくさん掲載する事が出来ました。

進路委員会

各学年の進路講習会の実施を行いました。6月に大学見学会を実施し、大和大学と関西大学の2校を見学しました。



文化厚生委員会

2年生のクラス委員さんを中心に、11月に文化教室としてPTA文化教室「食育講話&料理教室」を実施しました。文化教室の合間には、修学旅行中の子供達の様子を先生よりお伺いする等、楽しい雰囲気の中でクッキングをする事が出来ました。



（参加者感想）

・先生のお話もわかりやすく、とても勉強になりました。家でアレンジして、今日教えていただいた料理を作ろうと思います。
・楽しくみなさんと料理ができて楽しかったです。
・安田シェフのお話、楽しかったです。

各学年委員会

毎日和食だったため、新鮮でした。また、参加したいです。
・食育の、フランスやイタリア、日本での子どもたちへの取組で、目隠しで香りや味、音を聞き分けたりするのは、子ども食堂をしているので、取り入れたいと思います。普段、甘みを使ったりものを作っている、ワイン酢を使ったりは初めてで新鮮でした。色々な料理へチャレンジしていく視野が広がった感じです。

全学年共通して、学年ごとの進路説明会と学年懇談会を実施しました。また西乙祭・文化の部（1日目）では飲料と駄菓子の配布を、西乙祭・文化の部（2日目）と体育の部では飲料の配布を行いました。



第41回

西乙祭

文化の部

2024. 9/10・9/11

クラス発表

サインボード

★★★ 最優秀賞



1-3
2-3
3-3

★★★ 最優秀賞



1-1
2-1
3-4

★★★ 優秀賞



1-4
2-4
3-1

★★★ 優秀賞



1-4
2-4
3-3

3年生 青空劇場



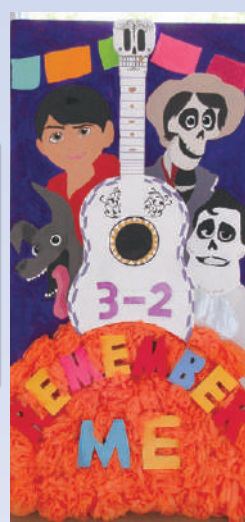
3-1



優秀賞



3-2



3-3



最優秀賞



3-4



2年生 演劇



最優秀賞



2-1

2-2



最優秀賞



優秀賞



2-3

2-4

1年生 創作発表



最優秀賞



1-1

1-2



最優秀賞



優秀賞

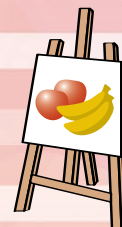


1-3

1-4



美術部



生徒会



文芸部



写真部



保健委員会



茶道部



ボランティア委員会



サイエンス部



総合優勝 青団 (3年1組、2年3組、1年4組)

総合準優勝 黄団 (3年4組、2年1組、1年2組)



西乙祭
体育の部
2024.9.27



研修旅行特集

第2学年 海外研修旅行～台湾への旅（11月5日～11月9日）

コロナ禍から中断していた海外研修旅行がついに復活しました。コロナ収束後は国内での研修旅行を実施していましたが、今年度より台湾（台北・台中）へと行先を戻すことが出来ました。初めての飛行機、初めての海外旅行の生徒も非常に多く、パスポートの申請、外貨への両替え、現地でのWi-Fi環境の確保など、日本国内では考えられないことばかりです。

初めて異国の地へと降り立った生徒の反応は様々でした。匂いを気にする生徒、言葉が通じず見慣れない言語の看板に戸惑う生徒、圧倒的な現地の人たちの熱量に驚く生徒。1つ1つが生徒達がこれまで知らなかった感覚の扉をこじ開けるものばかりだったようです。

台中では、國立南投高級中学と学校交流を行いました。歓迎セレモニーから、最期のお見送りまで学校全体で西乙訓高校を受け入れ、時間をかけて準備をしてくれたと思われる催し、授業体験はどれも素晴らしいものでした。最初は互いに通じる言葉を探って距離を縮めることができない生徒達でしたが、交流が始まり体を動かし始めると、笑い声や歓声が各教室でどんどん広がっていきました。伝えたいことを伝える努力と恥ずかしくても一歩を踏み出す勇気を出すことが今回の学校交流の1番の目的でした。

台北ではB&S（地元大学生が同行しての市内散策）を実施、地下鉄では日本のような切符ではなく、コインのようなものが切符代わり。各班事前に調べた場所に公共交通機関を利用し、移動して買い物等を楽しみました。幻想的な風景を期待していた九份では、あいにくの大雨でしたがカッパを着用してノスタルジックな街を散策しました。故宮博物院では歴史に翻弄された宝をガイドの説明付きで見て回り、忠烈祠では、一糸乱れぬ動きが圧巻の英霊と建物を守る衛兵の交代式を見学できました。最終日の夜は夜市に出かけました。グルメにアクセサリ、洋服、靴、ゲームの屋台などなんでも揃っており、生徒達もお祭り気分を味わっていました。

当初、コンビニで水を購入するのも苦労していた生徒達でしたが、4泊5日の旅は自身の多様性や柔軟性を高める良い機会となったと思います。視野を広げ多様な価値観を身につけることにつながる機会は卒業後も積極的に見つけていって欲しいと思います。

第二学年部長 河本 孝弘



國立南投高級中学での授業体験



國立南投高級中学での歓迎セレモニー



台北中正紀念堂前



台北士林夜市

生徒会活動報告

今年度、前期生徒会長を務めさせて頂きました岡内幸汰です。

今年度の生徒会活動は、春の新入生歓迎会から始まり、学校説明会のお手伝いや国際交流の運営、挨拶運動、被災地支援募金、校則改訂活動など積極的に様々な活動に取り組みさせて頂きました。

その中でも、「西乙祭文化の部」では生徒会内で「大改革」という目標を掲げ、文化祭に向かう態度から考え直し、「タケボー探し」や「〇×クイズ大会」を企画、そして例年行われている「夜祭」では、サイリウムの配布やMCの仕方などどうすれば更なる熱況を生み出せるかを考え、結果として後のアンケートで一番盛り上がったコンテンツに選出される大成功を収めました。準備から本番まで本当に大変でしたが、協力してくださった先生方、生徒会役員、そして当日、最高の笑顔と活気を見せてくれた生徒の皆さんのおかげで最後まで成し遂げることができました。本当にありがとうございました。

文化・体育。両方に猛暑の中での開催でしたが、そのような時でも、お力添え頂いたPTAの皆様、温かい目で見守って頂いた保護者の皆様、心より感謝申し上げます。



三年生のみんな、卒業おめでとございます。春からは社会に出て、楽しいこと、幸せなこと以上に社会の厳しさに立ち尽くすことがあると思います。でも、そんな時はここで過ごした3年間を思い出して、私たちのやる時はやるスタイルで乗り越えていきましょう。皆さんの活躍を心から応援しています。

学校風景



● ナムソン女子高校(韓国)との国際交流



● 五旬節聖潔會永光書院高校(香港)との国際交流



● アーリントン訪日団(アメリカ)との国際交流



● タンピネスセカンダリースクール(シンガポール)との国際交流



1組 岩井 俊夫 先生

3年生の皆さん、御卒業おめでとうございます。保護者の皆様、心よりお祝い申し上げます。

さて、西乙での3年間はどうかだったでしょうか。高校生活での学びは、これから生きていく上での糧となるに違いありません。真面目に学習に励んだ。部活動にしっかり取り組んだ。研修旅行を楽しめた。西乙祭で燃えた！など、様々な経験を積んだことと思います。予定通りに上手く出来たことも、残念ながら失敗に終わったこともその全てが皆さんの栄養となり力となると信じています。

また、素晴らしい友達や仲間との出会いがありました。高校の友達は一生涯の友になるといいます。一方で、友人関係に悩んだことも少なからずあったと思います。周囲の大人に対しても思春期ど真ん中で、その意見を素直に聞けなかったときがあったかもしれません。少し前に流れたシャンプーのCMに「ほっといてね ほっとかないでね」というコピーがありました。皆さんを「ほっとかなかった人」を思い浮かべてください。楽しい時間を共有できた人、悩みを聞いてくれた人、何よりも毎日のお弁当をつくってくれた人は誰でしょうか？この卒業の節目に感謝が伝えられたら最高です。

そして、入学時に贈った言葉をもう一度、Nothing is impossible. できないことはない。

何事にも挑戦し、夢を追いかけよう。諦めずに努力している限りは、失敗にはならないという理屈も通ります。毎朝のSHRの最後には「今日もしっかり勉強しよう。頑張ろう。」と励まし続けていたつもりです。これからも応援しています。頑張ろう!!

贈る言葉 3年担任より



2組 野中 昌美 先生

3年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。保護者の皆様におかれましては、ご子息のご卒業、心よりお祝い申し上げます。

2年生から皆さんと一緒に過ごす時間は、あっという間で幸せな時を過ごさせていただきました。それは、皆さんと皆さんに関わった先生方や保護者の皆様方・地域の方々など大勢の方々が支えてくださったおかげだと感謝しております。本当にありがとうございました。♡

今思い返しても、いろいろな思い出が脳裏に浮かんできます。学校行事を始め、授業やHR活動・日々の時間で、私は皆さんのパワーにいつも驚かされ。ついて行くことがやっとで、皆さんの発想力や行動力には目からうろこがぼろぼろボロと落ちていったように記憶しています。また、年を追うごとに皆さんがパワーアップされてくる様子を誇らしくさえ思えました。(若いうって素晴らしい!!)

さて、皆さんはこの西乙訓高校を巣立っていきます。未来が広がっています。どのような未来でしょうか？是非何かに打ち込んでみてください。！そして、一度きりの人生です。自分を自分自身が楽しんでみてください。

さ——スタートです。！皆さんの今後の活躍を心からお祈りします。

3組 岡田 悠平 先生

【 君たちはすごいぞ！ 】

3年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。また、保護者の皆様におかれましては、お子様のご卒業、心よりお祝い申し上げます。

3年間あっという間でしたね。私にとっては初めての担任でした。皆さんとともに3年間一緒に成長できたことを、とても、とても嬉しく思っています。

私事ですが、皆さんも知っての通り、私に昨年娘ができました。日々、寝返りができるようになった、座れるようになった、離乳食を食べられるようになったと娘の成長に一喜一憂です。こうやって娘の成長を1日1日見ていると、高校を卒業するまでの未来ってなんて遠いんだろう！と思います。皆さんが高校を卒業するこれまでは、途方もない喜びや苦勞、そして愛があったのだらうと想像せずにはいられません。ですので、これまで以上の感慨を持って、皆さんに「おめでとう」の一言を送ります。

多くの経験を経て、高校卒業までたどり着いた皆さんには、「高校を卒業した」と言うことを誇りに思っ欲しいと思います。確かに、今の日本の社会ではほとんどの人が高校に進学し、高い割合で卒業をします。だから中には、特別誇ることをしたと言う気になれない人がいるかもしれません。

けれど、皆さんに意識して欲しい事を一つ伝えておきます。それは、皆さんはすごい財産を持っていると言う事です。

ここで皆さんに一つ質問をしたいと思います。

「金庫の中に金塊が入っていて、それはあなたのものです。この金塊は不思議な性質をしていて、使えばどんどん増えていくけど、使わなければどんどん減っていきます。あなたはこの金塊をどうしますか？」

勿論、使わない手はないでしょう。そんな都合の良い財産はどんどん使ってどんどん増やすべきです。でないとただ減っていくだけで損です。

そんな都合の良いもの有るわけ無いじゃないかと言われてしまいそうです。けれど、この金塊こそが、皆さんが高校生活で手に入れた財産に他なりません。

その財産が何なのかは、敢えて言わないでおきます。宿題にしておきますが、提出の必要はありません。できればその財産を増やして、自分のために、そして自分の大切な人たちのために使ってください。

3年間ありがとう。皆さんのこれからの活躍を心から応援しています。

4組 本田 一之 先生

3年生の皆さん、御卒業おめでとうございます。また保護者の皆様におかれましては、心よりお祝い申し上げます。

思えば去年、私は三年生を送り出しましたが、ほっとしたのもつかの間、また新三年生の皆さんを担任することになりました。弓道部と文芸部の部員以外、誰も顔なじみの生徒がいなかったので当初は不安でしたが、本当に楽しい一年を過ごすことができました。この場を借りて感謝します。

さて唐突ですが、命はだれのものでしょうか。多分皆さんは、自分のものにきまってるじゃないか、とおっしゃるかもしれません。しかし果たしてそうでしょうか。自分が今ここにいるためには、皆さんの両親が必要です。両親が存在するためには皆さんの祖父と祖母が必要、祖父と祖母が存在するためにはその曾祖父と曾祖母が……というように、皆さんが今ここにいるためには、多くの人々が存在したことが前提になっているのです。これらの内、誰かひとり欠けていても、今の皆さんは存在していなかったかもしれません。人間の歴史、その気の遠くなるような長い年月の、命のリレーの先に今の皆さんがいるのです。それを我々は奇跡と呼んでも過言ではありません。

もうお分かりでしょう。あなたの命はあなたの両親や家族、あなたの友人たちなど、あなたに関わったすべての人のもの、いわば人類の共有財産なのです。自分の命を大切に。それを使い切り、自分一人のためだけではなく、できるだけ多くの人々に役立ててくれることを願っています。



部活動 紹介

Introduction of Club Activities.

硬式野球部

硬式野球部 1年 山部 晁也 です。月曜日はオフで、それ以外の日は基本的に活動しています。平日は約1時間半フィジカルを鍛えるトレーニングを中心に行っています。キャッチボール・ノック・バッティング等は部員が1人なので顧問の先生と行っています。休日は合同チームを4校で組み、他校との交流試合を行っています。平日の練習は1人で「きつい」と思うこともありますが、懸命に取り組んでいます。宜しくお願いします。



陸上競技部

陸上競技部です。3年生の皆さんご卒業おめでとうございます。さて、今、活動しているのは1名です。陸上競技について入部してきたばかりでまだまだわからないことだらけですが、陸上は、全ての競技の基本であるといえます。自分にはどんな能力があるのか、どんな可能性があるのか、自分に挑戦しようと思っています。一緒に自分自身に挑戦してみませんか？入部を心から待っています。



サッカー部

サッカー部では、現在2年生2名、1年生1名の合計3名で活動しています。人数は少ないですが、皆で仲良く楽しく日々の練習に充実した毎日を送っています。公式戦等は、洛水高校、田辺高校、農芸高校と合同チームを組んで出場しています。休日等は、合同チームで集まって合同練習も行っています。10月の選手権大会を最後に3年生は引退しましたが、その思いを引き継ぎ、チーム一丸となって、1月の新人戦大会に挑みました。4月には新入生が多く入部してくれる事を願っています。一緒に西乙訓高校のサッカー部を盛り上げていきましょう！



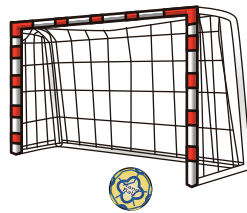
女子バレーボール部

女子バレーボール部は部員が一人だけで活動しています。普段の活動は大変なことも多いですが、他校と合同チームを組むことによって練習試合や公式戦に参加しています。合同チームでは、西乙訓高校の生徒だけでなく他の学校にも友達ができるので自分の世界も広がり、勉強にもなっています。春には単独でチームができるように頑張っていきたいと思っています。



男女ハンドボール部

新入部員募集中!!



テニス部

新入部員募集中!!



バドミントン部

バドミントン部です。男女共に人数は少ないですが、日々の練習では各自が課題を決めて練習に励んでいます。初心者も多く、すぐに上達する競技ではないですが、少しずつ出来る事が増えてくると、やみつきになるのもバドミントン競技の面白さです。しんどい練習でも、仲間と声を掛け合って乗り越えることができるようになってきています。志を高く持ち、難しさの先にある結果を求めてこれからも頑張っていきたいです。



弓道部

弓道部は現在、2年生17名、1年生10名の計27名で活動しています。弓道とは弓と矢を用い、およそ28mm先の的を狙う競技です。的に当てることのみならず、所作や礼儀が重視され、まさに「礼に始まり礼に終わる」競技です。部員は日々練習に打ち込み、最近では全国インターハイに女子個人で出場、近畿大会の団体戦で男女とも決勝トーナメント進出（ベスト8相当）、女子個人8位入賞など結果を残しました。今後も目標を高く持ち、全力で活動に取り組んでいきます。是非応援よろしくお願いします。【3年生へのメッセージ】3年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。先輩たちが紡いできた伝統・雰囲気は今後も伝えていけるように精進し、全国大会へ行くように頑張ります。



男子バレーボール部

男子バレー部です。現在1年生5人、2年生4人、マネージャー1人の計10人で活動しています。週6日活動しており、リーグ戦通過を目標に日々頑張っています。まだまだチームとしても個人としてもたくさん課題がありますが、次の大会で活躍できるように頑張っています。経験者でも未経験者でもかまいません。バレーボールに興味がある人、バレーボールを「やってみたい!」と思う人はぜひ一度体験に来てみてください!!



卓球部

新入部員募集中!!



男子バスケットボール部

男子バスケットボール部は、1年生4名、2年生6名、マネージャー4名で活動しています。週5で活動しており、原則木曜日と日曜日が休みで、ベスト16を目標に日々練習しています。3年生の最後の大会では、目標にしていたベスト16には届かなかったのですが、3年生3人の勇姿に心をひかれて、一生懸命練習しています。特に、仲の良さはこの部活の持ち味なので、人間関係は問題ないです。半分が経験者で半分が未経験者なので、誰でも大歓迎です。ぜひ来てください!!



女子バスケットボール部

新入部員募集中!!





部活動 紹介

Introduction of Club Activities.

美術部

一年生二人、二年生三人、三年生五人で活動しています。普段の部活動ではそれぞれ自由に絵を描いています。他にも、季節ごとに黒板アートを描いたり、部誌を描いたりしています。絵を描くのが得意な人も苦手な人もぜひ美術部に来てください。新一年生だけでなく、途中入部の二、三年生も大歓迎です。



吹奏楽部

私たち吹奏楽部は、感謝の気持ち忘れず、たくさんの方の心に響く演奏ができるように日々活動しています。今年は、京都府吹奏楽コンクール小編成で「金賞」受賞、近畿高等学校総合文化祭福井大会に京都府合同バンドとして出演などしました。新チームになり、3年生の先輩方の苦労などがわかり、大きな存在であったと今、感謝しています。3月20日の定期演奏会を楽しみにしています。これからも部員一同、頑張ります。



ワンダーフォーゲル部

ワンダーフォーゲル部では、一年生一人、二年生四名の計五人で活動しています。学期に複数回、山に登り山頂ではご飯を作っています。少人数で活動しているので、運動が苦手な人でもペースを合わせて一緒に山に登ることが出来ます。部員のほとんどが登山初心者なので、高校で新しいことを始めてみたい人は、ぜひワンダーフォーゲル部に来てください。



文芸部

3年生のみなさん、御卒業おめでとうございます。文化祭等で部活動を盛り上げてくださり、本当にありがとうございました。私たち文芸部は毎週、火曜日と金曜日に活動をしています。かるた班と文芸班に分かれて活動しています。かるた班は、春と夏の大会に向けて練習をしています。文芸班は、文化祭などで文芸誌を出すことが主な活動内容です。部員は他の部活動と兼部をする者も多く、皆のびのびと楽しく活動をしています。



放送部

放送部は、少人数ですが仲良く活動しています。活動内容は、毎週水曜日と金曜日の昼休みに「お昼の放送」をしています。このほか、文化祭の音響機器の設置、体育祭の司会進行や競技のナレーション、乙訓青年会議所主催「乙訓Dreamフェスタ」の司会など地域への貢献活動をしています。ぜひ、みなさんも一緒に活動しませんか！



演劇部

我が部では主に「文化祭での公演」に力を入れています。また、前年までには「冬劇場」という演劇の大会に出場していましたが、現在、部員が二名となり、出場が難しい状況となっております。主な活動内容としては「台本読み」や「声出し」などをメインに活動しています。二名とも演劇未経験から出陣しました。まだまだ手探りではございますが、一生懸命奮闘しております。途中入部でも兼部でも大歓迎ですので、ぜひ一度検討ください。最後になりましたが、ご卒業される先輩方に一言送らせていただきます。ご卒業おめでとうございます。ここからは各々がそれぞれの道へと向かっていくと思いますが、一つ劇場を創出する、一つにぶつかった時やストレスがたまると共に無理にそれを乗り越えようせずに、一度現状を把握する事が大事だと思います。先輩方が築き上げた演劇部を私たちがついて、今度以上に良しうと思います。改めて卒業おめでとうございます。



茶道部

みなさん、こんにちは。茶道部です。茶道部は現在一年生六人、二年生六人の計十二人で活動しています。活動は週に二回、水曜日と木曜日に行っています。水曜日は、外部の先生をお招きしてお稽古をしています。お菓子を食べたり、お茶を点ててお互いに飲み合ったりしています。水曜日は水曜日の振りを自分たちです。夏休みには、浴衣の着付け講習や茶筌作り、干菓子作りを体験します。文化祭では、浴衣を自分で着付けて、来ていただいた方にお茶を出すお茶会を開催しました。お稽古を続けられ、茶道裏千家の資格（お免状）を取得することが出来ます。茶道部に少しでも興味のある方は、ぜひ体験に来てみてください！



写真部

こんにちは、写真部です。写真部での活動は、郊外で撮影した写真を、図書館横に掲示したり、展示会に出品をすることです。文化祭では、チェキ会を開き、黒板アートをしたり、小物を使ったりして撮ります。主に水曜日に活動していますが、不定期なため、毎週あるわけではありません。だから、他の部活と掛け持ちしやすいです。少しでも写真に興味があれば、来てくださると幸いです。



サイエンス部

サイエンス部は、毎年、西乙祭で熱気球に取り組み、代々伝わる気球は、バーナーの熱による傷みで継ぎ接ぎだらけになっています。が、今年も晴天の下、無事に空高く上げることが出来ました。この西乙祭の熱気球で3年生は引退です。いろいろな実験に取り組み、上手い出来ないことも多かったのですが、サイエンス部の活動が今後の糧になることを願っています。「失敗は成功のもと」です。



グローバル部

私たちグローバル部は、1年生10人で週2回活動しています。今年度から部名が、ECCから変わり、より「グローバル」な部活動を目指して、英語を中心に韓国語や中国語も学んでいます。学校外のボランティア活動にも取り組み、今年度は「祇園祭ごみゼロ大作戦」に参加し、その他、全国高校生伝統文化フェスティバルや、韓国の高校生との交流も行いました。みんなで楽しく活動しているので、少しでも興味のある方は是非見に来て下さい。



各部活動の活動状況・成績につきましては、西乙訓高等学校のホームページで御覧ください。

1年を振り返って

第一学年部長 谷村 侑子

まつさらな制服に袖を通し、西乙訓高校の門をくぐってから、1年が経とうとしています。この1年は長く感じましたか。それとも、あっという間の1年でしたか。

人間の脳は、新たな発見や新たな気づきがあると時間の経過を長く感じる傾向にあります。逆に、毎日がルーティン化され、新たな発見や感情のポジティブな起伏が薄れてしまうと時間が早く過ぎるよう感じる傾向にあります。

あなたの過ごしたこの1年、前者か後者、どちらだったでしょうか。人間、誰しもが平等に持てる24時間という時間を大切に、残りの2年間を過ごしましょう。

ところで、今年、いくつかの「Challenge」をしましたか。チャレンジした結果は、失敗でも成功でもどちらでも良く、チャレンジをすることに大きな意味があるのです。「よし、やってみよう!」「少し怖いけど、挑戦してみよう!」「だめかもしれないけど、自分なら何とかできる!!」と、「己を鼓舞(大いに励まし)気持ちを奮立たせることし、チャレンジすることが重要です。この原動力には、「自己効力感」が必要です。この力は、日頃の自分自身の物事に取り組み姿勢によって培われる、非常に大切な力です。あなたは、さまざまな事に全力で取り組みましたか。自分の意志で行動を選択していますか。自分の気持ちに素直に行動を選択していますか。人の目を気にした行動の選択をしていませんか。失敗した時に、人のせいにしていませんか。全力で取り組んだ結果を、成功も失敗も全て受け入れてあげましょう。そして、多くの仲間がチャレンジしている事をお互いに励まし合いましょ。

いよいよ高校生活中盤の2年生です。新たな目標を設定し、目標の実現の為に、どんなスモールステップが必要であるか。スプリングブレイクを利用して、作戦を立て、有意義な2年目の時間を過ごせるようにしましょう。一所懸命頑張る貴方達を応援します。

自己効力感: 目標を達成するための能力を自分自身が持っている状態と認識している状態
「自分ならできる」「きことうまくいく」と思える認知状態

第二学年部長 河本 孝弘

何もわからずスタートした1年目とは違い、友人も増え、学年でも部活動でも先輩という立場になりました。ただ、周りの成長・変化から向き合う課題、悩みも多様になった1年となったように感じます。

クラスも替わり、これまで構築してきた人間関係も大きく変わりました。これまで良しとしてきたやり取りも、クラスメートが変われば話が違います。どう話し掛ければ良いのか、どこまで踏み込んでよいのか。程度がわからず、なかなか1年次の人間関係から切り換えることが難しい生徒達をたくさん見ました。

欧米では個性を優先し、その後協力を学ぶ傾向がありますが、日本では様々な活動を通じて自分たちで物事を進めることや、協力し合うこと、思いやりを学ぶ環境を優先する傾向にあります。優先順位をつけることはできませんが、どちらもとても大切です。

ただ、日頃の生徒達を見てみると、まずそのコミュニケーションの中で協力し合う喜びや役立つことを学んでほしいと強く感じます。今年は、集団の中で協力し、支え合う経験を重ねていく場が1年間の中で何回もいろいろな形でありました。

1学期には、班別でミッションをこなしながら京都市内を巡る校外学習を実施しました。目的地に着くまで、次の行き先がわからず、班のメンバーと交通手段等を考えながらゴールを目指しました。

2学期の西乙祭(文化の部)では、各クラス40分を超える演劇に取り組みました。セリフや立ち回りのタイミングを合わせるのに苦戦しながら、どのクラスも工夫に富んだ仕上がりになりました。あの人が、こんな役を!?普段見られない仲間達の頑張りは学年に弾みをつけてくれました。西乙祭(体育の部)では、運動が苦手な生徒も周りの応援に後押しされ、あきらめずに最後までやりきることが出来ました。

コロナ禍以前に実施していた台湾への海外研修旅行が復活し、初めての飛行機、海外という生徒がほとんどの中、4泊5日の研修旅行は生徒達にとって良い刺激になりました。

「自分らしさ」を色んな人につけていく、自分が決めつけていた枠がどんなに狭いのかを思い知る。高校生活はあと1年です。守りに入らずに、あと1年だからこそ、自分にできる「何か」を探ってください。

●編集後記

今年度の西乙祭は両日ともに快晴。じつとしていても汗が流れるほど気温の高い中、全力でクラスや部活動の企画に取り組んでいた西乙高生の姿がとても印象的でした。そんな生徒たちの姿をお届けできる事を嬉しく思います。

「西乙」第八十八号を発行するにあたり、取材や原稿作成にご協力いただいた皆様に心より感謝申し上げます。

本誌が学校での子どもたちの様子を知る一助となれば幸いです。

PTA副会長 広報担当
水戸 晃吾

